

フランス：衣類・靴の修理費用支援制度（2023年10月導入予定）

資料 2

- 7月11日、フランス政府は、衣類・靴の修理費用を支援する制度を、本年10月から開始する旨発表。消費者にリペアによる長期利用を奨励し、修理される衣類・靴の量を、2028年までに35%に引き上げることを目指す。
- 循環経済法（2020年2月施行）において、エコ・オーガニズム（注）に対し、生産者や輸入業者が支払うリサイクルのための拠出金をもとに、修理促進のための基金の立ち上げを義務付け。当該事業は、この基金によって、エコ・オーガニズムである「**Refashion**」が運営予定。
（注）拡大生産者責任の枠組みの中で、国の認可を得てリサイクルや廃棄物の管理を行う非営利団体。

修理費用支援制度の概要・スキーム

- 実施・運営主体：Refashion（衣類・靴・リネンのエコ・オーガニズム）
- 予算額：1億5,400万ユーロ（2023～2028年の5年間）
- 補助額：修理の複雑さにより6～25€（靴のかかと修理（7€）、靴の裏地張り替え（25€）等）

